

# 松下幸之助記念財団

## 2013年度「研究助成」募集要項

(人文科学・社会科学領域)

松下幸之助記念財団の目的のひとつは、諸外国との相互理解の増進を図り、世界文化の進展と人類の平和に貢献することです。

この目的に沿って、人文科学・社会科学の領域における、世界的な視野に立った研究、わが国と諸外国との間に介在する諸問題の解決、あるいは相互理解を促進させるための諸施策の提案に関する調査研究活動に対し助成を行います。

### (I) 助成対象

#### 1. 助成対象研究

人文科学・社会科学の領域において国際相互理解の促進や世界的な視野に立った社会的・学術的に要請の高い調査研究。又は、わが国と諸外国との間に介在する諸問題の解決のための研究。特に新しい着想にもとづく先駆的な研究を歓迎します。

(助成の対象とならない研究)

- ・ 営利を目的とした研究や営利につながる可能性の高い研究
- ・ すでに実質的に完了している研究
- ・ 巨額の研究費を必要とする研究
- ・ 研究期間が助成期間の半分に満たない研究

#### 2. 応募資格・条件

- ・ 大学院博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の者
  - ・ 過去に当財団の研究助成を受けていない者
- ※ 応募者の国籍、所属、居住地などによる制限はありません

### (II) 助成の概要

#### 1. 募集人員

- ・ 40名程度

#### 2. 助成金額

- ・ 1件当たりの助成額の上限は50万円です。
- ・ 助成金については研究内容および支出計画の合理性により査定をいたします。

#### 3. 助成期間

- ・ 2013年10月1日から2014年9月30日の1年間とします。

#### 4. 助成金の使途

- ・助成金は研究計画の遂行および取りまとめに必要な経費で、後掲の「研究助成金費目一覧表」のとおりとします。
- ・助成申請金額と使途明細合計は必ず一致するものとします。
- ・研究成果の発表を目的として行う報告書の印刷・出版物の刊行・シンポジウムの開催・国際学術集会への参加に要する費用は、この助成金には含まれません。

#### 5. 助成対象者の主たる義務等

- ・助成対象者は当財団と誓約書を締結し、終了後に研究の経過・結果・会計について報告していただきます。
- ・当該研究の経過・結果報告については、当財団のホームページ等において公開しますので、あらかじめご了承下さい。

### (Ⅲ) 選考方法・基準

#### 1. 選考方法

当財団の選考委員会において厳正かつ公平な選考を行い、決定します。  
選考委員会は7月下旬を予定。

#### 2. 採否の通知

「採否」の結果は、8月初旬までに電子メールにて通知します。  
結果の理由に関するお問合せには応じかねますのでご了承下さい。

#### 3. 選考基準

次の要件を勘案して選考します。

人文科学・社会科学の領域で

- ① 当財団の事業目的と内容に沿った研究
- ② 社会的・学術的に要請度の高い研究
- ③ 独創的あるいは先駆的な研究
- ④ 研究者の意欲や能力が高く、研究計画・研究体制も優れていること
- ⑤ 支出計画が合理的かつ適切であること

### (Ⅳ) 応募手続

#### 1. 申請書の入手方法

申請書は当財団のホームページ

[http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/research/data/kj\\_shin.doc](http://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/works/research/data/kj_shin.doc)

に掲載していますので、ダウンロードしてご使用下さい。

## 2. 申請方法

①申請書作成

②推薦書入手

③「応募受付番号」の入手：下記サイトで「申請者登録」をし、受付番号を取得

④「応募受付番号」を申請書の右上欄に記載

⑤申請書類の郵送

申請者登録サイト：

<https://matsushita-konosuke-zaidan.or.jp/system/src/form/application.php?mode=1>

- ・申請書類に必要な事項を記入のうえ、原本一式（片面印刷）を当財団あて郵送して下さい。
- ・申請書類記入の用語は、日本語（日本人は日本語）または英語とします。
- ・パソコン（Word）をご使用頂き、直接申請書に必要な事項を打ち込んで下さい。
- ・申請用紙のNo.2・3・4・5はフォント『12P』以上（原則）で記載下さい。

## 3. 申請書類の内容

No.1	申請者は選考時期（7月～9月）に必ず繋がるメールアドレスをご記入下さい。 <u>捺印または署名の無い書類は無効となります。</u> （印鑑が無い場合、署名でも可）
No.2.3.4	研究計画をご記入下さい。 「研究目的」には研究テーマの学術的・社会的意義も含めた内容を記載して下さい。
No.5	修士論文の要約に関して、海外の大学など修士論文がない場合は、それに代わるものを提出して下さい。（学会での発表資料等）
No.6	支出計画の使途明細については次ページの「費目一覧表」をご参照下さい。
No.7	申請者は、当該研究課題に対して適切と思われる関連分野の専門家2名（推薦者1と2）を記載し、推薦者2については本人の捺印または署名を得て下さい。 推薦者1は推薦書（No.8）の記載者とします。
No.8	推薦書記載者（推薦者1）の推薦書を必ず申請書類と同封にて送付して下さい。 英文推薦書は別様式（レター形式）でも結構ですが1～2枚に収めて下さい。 推薦書の言語は申請書の言語と異なる場合も可。

## 4. 注意事項

- ・記載紙面の追加、規格外の紙面の使用および資料添付は受付いたしません。  
また、極端に小さな文字を使い字数の多い（縮小コピー貼付も同様）申請書類は受付いたしません。
- ・提出いただいた申請書類等は、返却いたしませんので必ずコピーを保管して下さい。
- ・申請書類の到着後2週間以内にEメールで受領連絡いたしますので、未着の場合は照会願います。
- ・申請書類が著しく不備な場合（乱雑な文字も含む）選考対象外になることがあります。

5. 応募書類受付期間：2013年4月1日（月）～5月17日（金）必着

# 松下幸之助記念財団

## 2013年度「研究助成」募集要項

(人文科学・社会科学領域)

松下幸之助記念財団の目的のひとつは、諸外国との相互理解の増進を図り、世界文化の進展と人類の平和に貢献することです。

この目的に沿って、人文科学・社会科学の領域における、世界的な視野に立った研究、わが国と諸外国との間に介在する諸問題の解決、あるいは相互理解を促進させるための諸施策の提案に関する調査研究活動に対し助成を行います。

### (I) 助成対象

#### 1. 助成対象研究

人文科学・社会科学の領域において国際相互理解の促進や世界的な視野に立った社会的・学術的に要請の高い調査研究。又は、わが国と諸外国との間に介在する諸問題の解決のための研究。特に新しい着想にもとづく先駆的な研究を歓迎します。

(助成の対象とならない研究)

- ・ 営利を目的とした研究や営利につながる可能性の高い研究
- ・ すでに実質的に完了している研究
- ・ 巨額の研究費を必要とする研究
- ・ 研究期間が助成期間の半分に満たない研究

#### 2. 応募資格・条件

- ・ 大学院博士後期課程在籍者及び博士後期課程終了後5年以内の者
  - ・ 過去に当財団の研究助成を受けていない者
- ※ 応募者の国籍、所属、居住地などによる制限はありません

### (II) 助成の概要

#### 1. 募集人員

- ・ 40名程度

#### 2. 助成金額

- ・ 1件当たりの助成額の上限は50万円です。
- ・ 助成金については研究内容および支出計画の合理性により査定をいたします。

#### 3. 助成期間

- ・ 2013年10月1日から2014年9月30日の1年間とします。